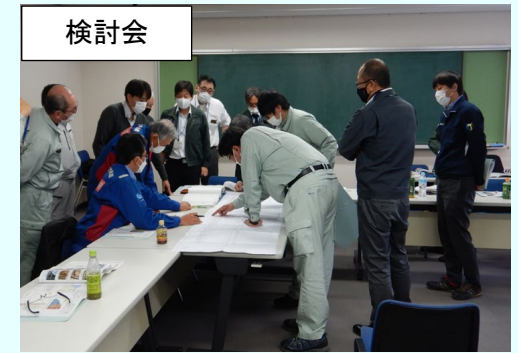


テックドクターによる現地診断 (熊本県熊本市北区大窪2丁目)

- ・国道3号181k700付近(上り線側)の法面において、既設の植生に表層浸食が見られ、現在、シート養生をしている。また、降雨後には、道路脇の法尻部に土砂の流出が確認されている。
- ・交通量も多く、大雨等で大量の土砂などが流出した場合の影響が大きいと思われることから、「カルテ対応」から「要対策箇所」への変更について、テックドクターに現地診断をしていただき、検討会にて意見を伺った。
- ・開催日: 令和3年12月20日
- ・参加者: TEC-Doctor(熊本大学 北園名誉教授、椋木教授)、熊本河川国道、熊本維持出張所、九州防災エキスパート会、点検コンサルタント

● テックドクターによる現地診断・検討会



【原因と今後の対応】

- ・現地を観ると、法面の上の畑の高さと畑脇(法肩)にある排水路の天端高さが不整合なため、雨水が排水路で拾えず滞水した水が土中に浸透していることが原因であると考えられる。
- ・「カルテ対応」から「要対策箇所」へ変更し、上記不具合の解消、縦排水路の補修を行ったうえで、現在設置されている土砂流出防止柵を表層浸食区域全体をカバーできる範囲に追加設置することが望ましい。